

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 放課後等デイサービスえーる

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|--------------|----|--|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | ・子どもの特性や状況によっては難しいことがありますが、活動、自由時間など過ごし方を工夫しています。 ・子どもたちが落ち着いて過ごせるように環境設定の工夫を行っています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | ・国で決められた職員の配置基準では子どもたちへの細やかな支援が難しいので、子どもの様子に合わせて配置規準以上の職員を配置しています。子どもの状況や活動によっては十分な対応が難しいこともあるので今まで以上に適切な配置に努めています。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | ・建物が古いため、敷居等が不安定な箇所もありますが、子どもたちが安全に過ごせるように必要に応じて改修を行っています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | ・自己評価の結果は毎年法人のHPにて公表しています。事業所の月の予定表はSNSを活用して周知できるようにしています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | ・学校や相談事業所などの関係機関から事業所に対する意見を聞くなどして、改善点を改善できるように努力します。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | ・事業所、法人の研修を行っています。今後も研修内容を充実させ、支援の質の向上に努めます。 ・法人として研修や資格取得に係る経費の助成を行っており、研修への積極的な参加を促しています。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | ○ | | ・年度初めにガイドラインを職員で周知し、支援の充実を図ります。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | ・病院、主治医との直接的な連携が十分でないため、今後は医師との連絡体制の強化に努めます。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | ・利用開始前に情報共有を行っています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | ・卒業前にケース会議等に参加して情報提供を行っています。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | |

| | | | | |
|------------|----|---|---|--|
| 携 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | ○ | ・児童館などの地域の社会資源を活用し、地域の方と交流する機会を増やします。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | ・地域の自立支援協議会に参加しています。 ・自立支援協議会について職員に周知します。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | ・保護者の意向を伺いながら検討します。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | ・保護者の意向を伺いながら検討します。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | ・法人の祭り等に参加し、地域との関りを持てるようにします。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | ・各種マニュアルの簡易版を配布するなどして周知を図ります。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | ・緊急時に他事業所からスムーズに支援を受けることができるように体制を整えていきます。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | ・虐待防止委員会を組織し、防止に努めています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | ・利用者の特性や状態に合わせた支援を行うよう努めています。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | ・保護者から情報や、医師からの指示書を提出して頂き、対応を行っています。 ・今後はエピペン等の使用について研修機会を持ちます。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | ・事例集は作成していませんが、回覧するなど全職員で把握し、再発防止に努めています。 |